

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	通所支援事業所ピース		
○保護者評価実施期間	R8年1月13日		～ R8年2月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	R8年1月13日		～ R8年2月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	R8年1月13日		～ R8年2月24日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月24日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達障害や関わりについての専門性がある。	事業所の取組やモニタリングの内容を園にも情報共有し、支援の足並みを揃えていけるように連携を図っている。	保護者のニーズを確認しながら、利用対象児を増やしていく。
2	保護者と園の間に入り、情報共有を行っている。	・園職員不在のモニタリングではその内容を園職員に、保護者不在の園との話し合いではその内容を保護者に文面で報告するなどして情報の共有が密に図れるようにしている。 ・事業所での活動の様子を写真付きのおたよりで園、保護者に定期的にお渡ししている。	・今後も維持していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	STからの助言はいただける環境にあるが、実際の訪問に行けるSTやOTなどのセラピストがいない。	各領域の専門性の向上。	・採用募集と並行して、助言をいただけるセラピストと繋がっていきけるよう働きかけていく。 ・コンサルテーションを活用し、支援者の各領域のスキルアップに努める。
2			
3			